



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,183	△1.6	1,039	△9.4	1,179	△8.0	834	△7.6
2019年3月期第3四半期	16,443	5.5	1,147	4.6	1,281	5.1	903	9.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,197百万円 (159.6%) 2019年3月期第3四半期 461百万円 (△73.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	187.85	-
2019年3月期第3四半期	203.38	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	27,038	17,158	61.3	3,731.26
2019年3月期	26,222	16,143	59.5	3,512.81

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 16,566百万円 2019年3月期 15,597百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	17.00	-	21.00	38.00
2020年3月期	-	19.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	0.8	1,500	△1.5	1,630	△2.3	1,120	△3.0	252.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	4,500,000株	2019年3月期	4,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	9,961株	2019年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,440,039株	2019年3月期3Q	4,440,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）における我が国経済は、全体として底堅く推移したものの、製造業で停滞感が次第に強まりました。

実質GDP成長率は4～6月期、7～9月期とプラスが続き、プラス成長は4四半期連続となりました。消費増税の影響で個人消費が10月以降下振れしていますが、各種の消費税対策により家計の負担が緩和されており、下振れは限定的なものにとどまる見通しです。

鉱工業生産を見ると、世界景気の減速、特に米中貿易摩擦と国内要因による中国経済の減速の影響が広く及んで、我が国からの財輸出は、輸送機械やアジア向けの資本財などで低迷が続きました。そのため、鉱工業生産は一進一退で伸び悩み、10～12月期に入ると、消費増税と自然災害の影響もあって減産となりました。四半期ごとの業況判断DIも製造業は低下が続いています。

しかし、人手不足から労働需要は依然として強く、ペースは鈍化したものの雇用者数は増加基調が持続、実質雇用者報酬も改善されたことから、個人消費は緩やかな回復が続き、内需は堅調に推移しました。

企業収益は、内需型、非製造業を中心として高水準を維持しています。ただ、4～6月期、7～9月期と2四半期続けて経常利益が減少となっており、10～12月期はさらに弱含みとなっています。

企業の設備投資は、製造業に慎重姿勢が見られるものの、構造的要因から、省力化、維持更新とソフトウェア投資の需要が強く、増加基調が続きました。

今後の見通しは、消費増税、自然災害の影響で景気が一時的に落ち込んだものの、世界のIT需要が底入れして輸出がやや持ち直すであろうこと、個人消費の低迷も長期化は避けられる見通しであることから、早晩緩やかな回復軌道に復帰することが期待されますが、中国で発生した新型肺炎が懸念材料になりつつあります。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は16,183百万円で前年同期に比して259百万円の減収となりました。損益につきましては、営業利益1,039百万円（前年同期比108百万円の減益）、経常利益1,179百万円（同102百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益834百万円（同68百万円の減益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

## ○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第3四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期を2.5%下回りました。米麦袋が毎年の漸減に加えて一部出荷が前年度3月に先取りされたこともあって大きく減少したほか、合成樹脂、化学薬品、その他農水産物などの用途が減少しました。増加したのは、その他食品、飼料、砂糖・甘味などの用途でした。重包装袋の原紙価格は、前年度に値上がりして以降、大きな変動はありませんでした。

当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比4.3%減少しました。米麦袋の減少はわずかでしたが、主力である合成樹脂のほか、化学薬品、砂糖・甘味用途を減少させてしまいました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、九州地区の作況不良で米麦袋は大きく減少しましたが、冷凍魚分野、飼料用や茶袋の増加があり、全体では前年同期比1.5%の減少でとどめました。タイ昭和パックス㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）は、中国経済減速の影響が東南アジア全般に及んで顧客の生産量が落ちこんだため、前年同期比9.1%の大幅減少となりました。山陰製袋工業㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）の売上数量は、米麦袋の先取り出荷の関係で1～3月は前年同期比増加、4～6月は減少となり、全体では前年同期比微増でした。

原紙価格が前年度に値上がりした分を製品価格に転嫁を進めた効果はあったものの、数量の減少分をすべてカバーするには至らず、当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は10,217百万円で、前年同期に対し1.5%の減収となりました。

## ○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期と比べて産業用は減少、農業用は増加しました。主原料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂の価格は、ナフサ価格の変動や、中東情勢の変化を受けて、不安定な動きになっています。

当社の売上数量は、産業用が増加、農業用が減少し、合計でほぼ前年同期並みでした。産業用で広幅ポリエチレンフィルム、アスベスト隔離シート、ポリスチレンフィルム「エスクレア」、農業用でハウス用農サクビフィルムなどが増加しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は2,760百万円で、前年同期に対して1.2%の増収となりました。

## ○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品、海外生産品合計の前年同期比で、合成樹脂、飼料、食品用途が増加、化学工業品、窯業土石品用途が減少しています。総出荷量では前年同期からほぼ横ばいでした。海外からの輸入量の全体はやや増加しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年同期比で減少し△6.6%でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は、いずれも前年同期から数量を減らしました。液体輸送用1,000lポリエチレンバック「エスキューブ」はほぼ前年同期並みでした。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は1,524百万円で、前年同期に対して6.6%の減収でした。

## ○不動産賃貸

賃貸契約内容に若干の変動があつて、当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期から2.4%減の193百万円でした。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は27,038百万円で、前連結会計年度末に比べて816百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金629百万円、商品及び製品222百万円および投資有価証券339百万円です。主な減少要因は受取手形及び売掛金410百万円です。

## (負債)

負債合計は9,879百万円で、前連結会計年度末に比べて199百万円減少しました。主な増加要因は電子記録債務136百万円、営業外電子記録債務111百万円、繰延税金負債106百万円およびその他の流動負債210百万円です。主な減少要因は短期借入金537百万円、未払法人税等175百万円および賞与引当金159百万円です。

## (純資産)

純資産合計は17,158百万円で、前連結会計年度末に比べて1,015百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益834百万円、剰余金の配当支払177百万円による利益剰余金の増加656百万円およびその他有価証券評価差額金の増加234百万円等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べて減収減益となりました。特に第3四半期連結会計期間に入って顧客製造業の減産が明らかになったことが大きく影響しました。今後の景気変動次第で当社グループの損益も大きく変わるリスクがありますが、現状では当連結会計年度(2019年4月1日～2020年3月31日)通期の業績見通しは、当初の予想(2019年5月13日発表)を変更せず、連結売上高22,000百万円、連結経常利益1,630百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,120百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,023,869	7,653,372
受取手形及び売掛金	6,762,018	6,351,898
電子記録債権	497,366	579,721
商品及び製品	1,080,369	1,302,834
仕掛品	129,625	124,482
原材料及び貯蔵品	1,054,753	1,019,729
その他	261,133	193,064
貸倒引当金	△11,376	△10,909
流動資産合計	16,797,758	17,214,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,772,589	7,858,590
減価償却累計額	△5,723,403	△5,864,664
建物及び構築物 (純額)	2,049,186	1,993,926
機械装置及び運搬具	9,949,253	10,098,462
減価償却累計額	△8,702,638	△8,956,969
機械装置及び運搬具 (純額)	1,246,615	1,141,492
土地	880,730	886,573
建設仮勘定	15,275	184,386
その他	824,692	868,804
減価償却累計額	△747,506	△767,663
その他 (純額)	77,185	101,141
有形固定資産合計	4,268,993	4,307,520
無形固定資産		
ソフトウェア	9,835	26,134
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	19,065	35,364
投資その他の資産		
投資有価証券	4,532,757	4,872,655
退職給付に係る資産	457,915	466,837
繰延税金資産	47,588	52,638
その他	107,158	98,054
貸倒引当金	△9,110	△9,110
投資その他の資産合計	5,136,310	5,481,076
固定資産合計	9,424,369	9,823,961
資産合計	26,222,128	27,038,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,917,073	3,995,817
電子記録債務	1,660,072	1,796,359
短期借入金	1,531,300	994,000
未払法人税等	274,966	99,826
賞与引当金	377,858	217,962
役員賞与引当金	19,440	14,790
設備関係支払手形	2,475	11,156
営業外電子記録債務	31,013	142,672
その他	664,573	874,825
流動負債合計	8,478,773	8,147,410
固定負債		
長期借入金	99,000	99,000
繰延税金負債	813,547	920,463
役員退職慰労引当金	104,684	119,826
環境対策引当金	5,119	-
退職給付に係る負債	397,679	401,284
資産除去債務	6,995	6,995
長期預り保証金	173,063	170,561
その他	-	14,088
固定負債合計	1,600,089	1,732,220
負債合計	10,078,862	9,879,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	12,762,802	13,419,243
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	13,683,708	14,340,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,770,946	2,005,924
為替換算調整勘定	165,055	249,124
退職給付に係る調整累計額	△22,694	△28,237
その他の包括利益累計額合計	1,913,307	2,226,810
非支配株主持分	546,249	591,564
純資産合計	16,143,265	17,158,523
負債純資産合計	26,222,128	27,038,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	16,443,343	16,183,399
売上原価	13,300,758	13,170,161
売上総利益	3,142,584	3,013,238
販売費及び一般管理費	1,995,208	1,973,873
営業利益	1,147,376	1,039,364
営業外収益		
受取利息	2,967	3,294
受取配当金	119,425	128,274
為替差益	10,897	4,314
その他	13,911	12,266
営業外収益合計	147,202	148,150
営業外費用		
支払利息	10,914	7,519
その他	1,862	723
営業外費用合計	12,777	8,242
経常利益	1,281,801	1,179,272
特別利益		
固定資産売却益	800	199
特別利益合計	800	199
特別損失		
固定資産除却損	346	4,540
投資有価証券評価損	-	11,133
特別損失合計	346	15,673
税金等調整前四半期純利益	1,282,254	1,163,799
法人税、住民税及び事業税	330,590	287,759
法人税等調整額	1,271	1,856
法人税等合計	331,862	289,616
四半期純利益	950,391	874,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	47,359	40,140
親会社株主に帰属する四半期純利益	903,032	834,041



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	950,391	874,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△523,597	235,180
為替換算調整勘定	33,608	93,409
退職給付に係る調整額	856	△5,542
その他の包括利益合計	△489,132	323,047
四半期包括利益	461,259	1,197,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,983	1,147,545
非支配株主に係る四半期包括利益	50,275	49,684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,370,296	2,727,979	1,632,102	198,389	14,928,767	1,514,576	16,443,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,370,296	2,727,979	1,632,102	198,389	14,928,767	1,514,576	16,443,343
セグメント利益	1,041,781	124,775	24,758	116,765	1,308,079	101,361	1,409,441

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,308,079
「その他」の区分の利益	101,361
全社費用 (注)	△262,065
四半期連結損益計算書の営業利益	1,147,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,217,548	2,760,683	1,524,725	193,652	14,696,609	1,486,789	16,183,399
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,217,548	2,760,683	1,524,725	193,652	14,696,609	1,486,789	16,183,399
セグメント利益	969,615	139,133	5,666	106,231	1,220,646	96,102	1,316,749

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,220,646
「その他」の区分の利益	96,102
全社費用(注)	△277,384
四半期連結損益計算書の営業利益	1,039,364

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。